

学習指導員 活躍記

がんばってま〜す、私たち!

「生涯学習」という言葉が使われ始めたのは昭和56年のこと。いまやこの言葉は定着し、インターネットの普及によって、さらに「生涯学習」の範囲は広がっています。しかし、どんなにインターネットが広まっても、人が直接人に教えることほど、人と人とのつながりを深めることはありません。また、お互いに喜びを分かち合えることも魅力です。そんな学習指導員の活動を紹介します。

水景と四つ目垣を作り、実践の場へ

庭園技能学習指導員
峯苦篤夫 (福岡県)



5年前に庭園管理士と庭園技能学習指導員の資格をとり、自宅の庭に、①蹲踞、②笕、③僧都、④四つ目垣(高さ85センチ)を作りました。これらを作ったのは、通信教育の受講期間中に「水景のある庭」を自分で実現したいと思ったからです。教本を片手に取り組んで、完成した時には喜びと感動で一杯でした。

現在は、床の間前の濡れ縁で、笕から流れ落ちる水を僧都の竹で受けて、竹が振り子になり竹尻とたたき石からでる「コーン」という音に自然の競演を楽しんでおり、「流線と音」の余韻に浸り、喧騒を忘れさせる一時です。

笕の水は、水道水を流し放



自分で施工した四つ目垣(上) 自宅の庭にしつらえた蹲踞、笕、僧都(下)

ではなく、音を聞きたいときにバルブを操作して流しています。竹のメンテナンスは、毎年青竹に取り替えが出来るように工夫しており、今年で4回目になります。青竹の調達・加工・取り付け・バランス調整等、すべてが自然との対話で、思い通りの音が出た時は、まさに至福の至りです。

四つ目垣は、プラ竹格子を裏綾掛けで結び、シユロ縄の結び目の「締りと美しさ」がポイントですが、五三三かの所の結束をし終えたことで、今後への自信となりました。

昨今、笕、僧都はあまり見かけなくなりりましたが、自作で体験したことを実践の場で生かしつつ、技能の伝承に

少しでも貢献出来たらと思っています。

「狭庭」からの子孫繁栄をめざして

庭園技能学習指導員
齊藤哲榮 (東京都)



自宅の庭は、家を建て替えるたびに狭くなってきましたが、今でも蹲踞、灯笼等を中心に、庭木、草花、下草類や鉢物等約80種類の植物を栽培しています。

自宅庭内で栽培したこれらの実生苗や株分け苗等の無償頒布を数年前から始めました。南天、万両、イロハモミジや山野草類が毎年こぼれ種から下草の間に発芽し、庭にはないケヤキ、スミレ等も毎年発芽します。また、風知草、ゼラニウム、ラン等の鉢物も植え替えるたびに株分け苗が増えてしまうので、鉢植えの展示無償頒布をすることにしました。

庭木の实生苗、3、4年もの、株分け等を鉢植えに移植する手間はか

かるものの、貼り紙と共に展示すると、驚くほど短時間でなくなつてしまします。これまで頒布した数は百鉢以上で、近所の人たちの植物に対する関心は、極めて高いと改めて認識しました。

時期物で、緑のカーテン用に毎年種蒔きから生育しているフウセンカズラは、余つたものをポット苗で無償頒布しています。昨年、このフウセンカズラのポット苗を見ていた小学生の男の子が、「本当にタダでくれるの？」と真剣な顔で尋ねたので、三鉢をレジ袋に入れて持たせたところ、再び母親と一緒に訪れ、「他に欲しい人がいるのでいいですか？」と言われ、残りをすべて持って帰っていただきました。

数か月後には、「風船がいっぱい付いて楽しいです」などと言われ、さらに、「風知草が涼しそうですよ」「ゼラニウムの花がたくさん咲いています」などとお礼や感想を言われることもたびたびあります。

現在、庭園技能学習指導員としての活動は全くないに等しいですが、今後も、体力、気力が続く限り、狭庭からの子孫繁栄をめざした作業を継



無償で頒布している鉢物の数々

続いていきたいと考えています。

今、思っていること

パソコン学習指導員
伊地知正弘 (福島県)

震災からまもなく7年になります。当時はパソコン講座を受講していましたが、その後、パソコン・ワーク技能の指導員の講習があることを聞きました。大きな災害の後でもあり、何か自分でできることを身につけていたほうが良いのかなとの思い、受講することにしました。

振り返ってみると、それまでの文化や習慣がアナログからデジタルに変わる節目でもあり、そんな時でもあつたので、学習を進め、資格を取得させていただきました。

パソコン学習の仕事はそれほどたくさんありませんでしたが、少しいたくることができました。そのような状況の中でパソコンにかじりつき、学習・研鑽を進めながら、今日にいたつております。



市民交流センター“テッテ”(完成予定図)

パソコン学習指導員になって6年目。郊外に移転していた市庁舎も市街地に戻り、来年1月には市民交流センター「テッテ」もオープンに向けて工事が進んでおり、ようや

く市の復興も少しずつできてきています。今後は、これからパソコンを学ぶ人が増えていくことを祈りたいと思います。(2018年2月記)

花を通して広めたい人間関係

ガーデニング学習指導員
菊地希望 (神奈川県)

花の仕事に関わって24年目を迎えます。



当初は千葉県で10年ほど生花店を開業し、公民館で子どもたちにもリースやフラワーアレンジメントの指導をしたり、地域の保育園や幼稚園に行つて花壇の植え込みをおこなったり、当店の教室では、寄せ植え、ギフト用寄せ植えバスケット、フラワーアレンジメントの指導をしておりました。

しかし、体調を崩したため2年間休業し、住まいを神奈川県に移しました。その間、町の人たちや地域の方々から優しいお言葉を頂いて心も体調も良くなり、新天地にて、また、生花店を開業しました。今度は、花を売るだけでなく、人と人の心の繋がりを大切に、花を通して周りの方々のために活躍できればと思っています。

花は、子どもから大人まで幅広く愛される一つなので、これから花を学びたい、花に触れたいと考えている方々と共に楽しく学びたいと願っています。また、個人だけではなく、社会、学校、地域の環境づくりにも関わって

いければ幸いです。

日々の生活の中で、花は心を癒してくれるものと確信しており、高齢化のこの時代、花を通して、老人ホームや入院患者さんにも心癒す時間を伝えることができればと考えています。

自然との付き合いを生涯の活動に

庭園技能学習指導員
奥山晴美 (神奈川県)

私は、定年後は第二の人生として自然に関わることをしたいと考えていたので、庭園管理士、庭園技能学習指導員の資格を取得し、県立の野外教育センターである神奈川県立愛川ふれあいの村に勤務して5年になります。

年間の利用者が約13万人に上る愛川ふれあいの村は、開所して45年になります。東京ドーム3個分の敷地には76種類、1400本の苗木が植えられ、自然環境に恵まれたところです。今では苗木も見事な巨木になり、桜の咲く頃には素晴らしい景観になります。生涯教育という教育ビジョンを推進するための施設として、最適の施設なのです。

私の日常業務は施設管理で、大薪、バタ薪づくり、樹木の刈り込み、剪定、落葉かき、クラフト作り等です。青少年の育成施設ですので、庭園



自宅の庭での奥山さん

技能学習指導員としての仕事はありますが、来村者の方から樹木の名前を聞かれた時、建築材になる木、葉になる木、食を支える木、祈りの木等の話を聞いて、会話を盛り上げています。今では正月の門松作りや管理棟の竹垣作りは私の仕事になっていきますが、今後は、健康で体力が続く限り、生涯の活動としてこの仕事に関わり続けたいと思っています。

初めての個展を開催

ハーブ学習指導員
小野沢寿江（埼玉県）

一昨年9月、私の知人が経営するカフェレストラン&ギャラリーで、「ごちゃまぜはみ出し展」という何とも風変わりなタイトルの個展を開催しました。見る、香る、聴く、味わう、触れる等々、五感+αを楽しむイベントです。

ハーブクラフト（ポプリ、サシエ、しおり、ミニまくら、アイピロー、なべ敷、コースター、フルーツポマンダー、カラージュ等）、ワークシヨップ（ハーブ石けん作り、ポプリ作り）で、手作



個展を開催した小野沢さん(左)

りを楽しんだり、ハーブティーを飲みながらプロのギタリストと和太鼓奏者による演奏を楽しむなど、趣味で描き続けているイラストとハーブ作品をコラボさせ、ハーブの魅力を大いに感じていただけるよう工夫しました。

6日間のイベントでしたが、ギャラリーは連日ハーブの素晴らしい香りに包まれて、参加して下さった方々の表情がみるみる明るく豊かに変化し、会話が弾みました。ハーブのあらゆる効果が相乗的に表れたのだと実感しました。ハーブを知る機会を得たと、多くのお客様からのお喜びのメッセージもいただき、開催して本当に良かったと思います。

ハーブに限らず自然界の住人である動植物は、私たち人間が持ち合わせていない高次元の生命力と生き抜く知恵を持っているので、それを見習うべく、日々の生活に有効活用できるように、より一層、広く深く学習していきたいと思っています。

謙虚な心構えと正しい知識が身に付くまでにはまだまだですが、長く楽しむために焦らずマイペースで歩んでいく所存でございます。

学んだことを講義で生かした

ガーデニング学習指導員
鹿喰サキ子（大阪府）

東大阪市の緑化リーダー養成講座の講師を務めて今年で7期生を教



園芸指導をする鹿喰さん

ることになります。

1期生から現在まで、百人以上の修了生が講座で学んだ座学や実習を生かして、自分たちで緑化場所を探して、地域の緑化活動に取り組んでいます。

講習期間は一応2年ですが、1年で修了する人もいます。播種、育苗、デザイン、管理等の実践を繰り返し、毎年3月の終わりの日曜日に卒業花壇のお披露目をしています。2年生のデザインは、やはり前年に比べて少しレベルアップしています。

今年も、近くの高校の園芸部の女生が見学に来たので市民受講生の説明をすると、先生と共に緑化活動に興味を持ち、今では修了生や受講生と一緒に活動することもあり、皆さんとても楽しそうです。

現在は、ハーブコーディネーター講座を修了し、引き続きアロマセラピーの講座も修了してとても勉強になり、すべてのことに繋がり、これらを講座に取り入れて、ひと味違った講義をしています。

花を愛でる心

ガーデニング学習指導員
竹下節子（大阪府）



花が好きで人のためになることが好きな私は、一人でも多くの方に花を愛でる心を忘れないで欲しいという想いから、ガーデニング学習指導員の資格を取得し、現在は二か所で活動しています。

一つは私の住んでいる茨木市です。四年前にできた京都の立命館大学の木キャンパスには、地域市民と学生と教職員が参加できる街と出会う場所のタウンガーデン、キャンパスと出会う場所のウエルカムガーデン、日本と世界の人が憩い交わる場所のワールドガーデン、香りのハーブガーデン、里山へと続くフォンテンガーデンという、五つの開かれたガーデンがあります。

現在は二百三十八名がガーデニングクラブに所属しており、その中の四十名がコアメンバーとして企画立案の手伝いを行っています。私はタウンガーデンを担当させていただいて、主な活動は毎月一回のキャンパスガーデンの手入れのほか、年一回のガーデニング観察ツアー、毎年行われる「いばらき×立命館DAY花マルシェ」の大きなイベント、年三回のガーデニング講座などです。

もう一つは、横浜です。（医）南山会横浜メンタルクリニック戸塚という医院で、こちらは開院以来、今年で十年目になります。ここでは本院と分院の待合室、診察室の観葉植物管理と



オープンガーデンには毎年たくさんの方が訪れます

て園路に活用しました。また、庭全体に高低差を出すために一輪車で土を運び、土地に合った花や樹木の選定で日々奮闘しました。6年後には、学習指導員の資格を取得し、教科

オープンガーデンで全国の人と友達に

ガーデニング学習指導員
小林友子（長野県）

17年前、何かに打ち込める趣味を持つとうと手造りガーデンに挑戦しました。和風の庭園を洋風庭園にするため一念発起し、動かせる石は花壇へ、動かさない大きな石はその特性を生かして

書や専門書を片手に試行錯誤を繰り返して、現在に至っております。

現在は講座で学んだ癒しの手造り「風と光」をテーマにした癒しの手造りガーデンを心がけています。レンガの園路、デッキ、パーゴラ、オベリスク等すべて主人の手造りです。当初庭造りには消極的だった主人も、定年後は率先して手入れを楽しむほどになり、生き甲斐を感じているようです。

私が住む須坂市では、花と緑のまちづくり推進事業の一つとして「信州須坂オープンガーデン」があり、50件以上の和洋さまざまな、個性ある庭を公開しています。そんな中、私は毎年実施される「須坂市花のまちづくりコンクール」の審査委員を依頼され、参加しています。

活動内容は市の観光協会と協力し、ガーデンウォークなど市主催のイベントや、県内外からの観光バスの受け入れ、各種メディアでの紹介、口コミ等で、今では北海道から沖縄まで全国各地から個人や団体で年間1500名以上のお客様がみえます。数年連続リピーターの方もいて、いつも花談義を咲かせています。

庭造りは地味な仕事がほとんどですが、手をかければかけるほど花は応えてくれます。私たち夫婦は共に古希を迎える高齢で、指導員としての名簿公開はしておりませんが、毎年ガーデンングを通じて全国の皆さんと接することができ、たくさんの知恵をいただきます。こんな贅沢はありません。こ

れからも皆さんの笑顔を思い浮かべながら健康で庭仕事を続けていきます。

自信を持って実践

ガーデニング学習指導員
長野信義（宮崎県）



私は、一人でも多くのの人にガーデニングの楽しさを伝えるために、わが家の小さな花壇を利用して、いろいろな種類の植物を用意してボーダーガーデンを作ったり、今はローズガーデン作りを目指して、毎日研究の日々です。

また、指導者として活動するために学習指導員の資格も取りました。仕事が忙しくて、残念ながらもまだ活動の機会がありませんが、今は自分のできることをしてガーデニングの知識を蓄え、機会があれば、講義や講演をしたと思っています。

友達と二人で教室を開催

ハーブ学習指導員
笹岡浩子（福井県）

私は平成24年11月にハーブ学習指導員の資格を取得しました。この5年の間には、同じ頃に資格を取得した友達と二人で、何回か教室を開き、最近では公民館講座で、ハーブビネガー、オイル作りやフルーツポマンダー作りなどをしています。一つの講座が終わると、参加した方から「次は何を教えてくださいませんか？」と聞かれたり、「とても

楽しみにしている」と言われると、たいへんうれしいです。

教室や会議のある時、家の庭で育てているハーブをいつも持って行って皆さんに飲んでいただきます。そのハーブの効用について話すと、「へえ〜」とか「そうなんや」と言われながら、おいしいと言われます。最近行ったフルーツポマンダー作りも、それを見た方から、親子教室で教えて欲しいという依頼を受けました。

これからも友達とお互いに手伝いながら教室をしていきたいと思っております。まだまだ学ばなければならぬことが多いですが、知識を広げて、次の教室に活かしていけたらと思っています。

出前講座を实践

情報処理（IT）学習指導員
若林龍義（北海道）



勉強をしたくても、時間の都合で、講座に来られない方が多数いらっしゃいます。そんな人たちのために、マンツーマン方式による出前講座を行っています。

この方式ですと、集中して一人の方に講義できるのがメリットで、また、一人ひとりの上達が目に見えてわかり、指導するこちら側も嬉しい限りです。

出前講座の講義中に発生した不明なところは、あとで電話で対応をしますが、ITの学習には終わりがありません。目標を定め、そのゴールを目

指し、受講者と私、共に頑張っています。

思わぬところで 生きた資格

コーヒー学習指導員
福田吉広 (千葉県)



コーヒー学習指導員になって2年目になろうとしています。

当初私は、この資格を取得したら、市の公民館を借りてセミナーを行ったり、カルチャーセンターで講師をしようかと考えていました。ところが私が毎週日曜日にクリスチャンとして参加している教会の礼拝で、礼拝後の食事会において、「教会公認のコーヒー担当者」に抜擢され、60人前後の礼拝参加者のコーヒーを作ることを引き受けることになり、これをきっかけに教会のバザー等で一般の人たちを対象に「コーヒー教室」的なものを不定期ながら開催することになりましたので、この学習指導員資格を十分に活用しています。

講義の内容は、「おいしいコーヒーを飲むには」みたいな入門的なものから「ストレートコーヒーを飲んで特徴を知り、バランスの良い美味しいブレンドの仕方」的な中・上級クラスの講義まで、その時の参加者の注文に応えられるセミナーまで、幅広く行っています。

皆さんがふだん何気なく注文されている「ブレンドコーヒー」は、本来ストレートコーヒー単体では偏っている

味を、それぞれのストレートコーヒーの味をバランスよく組み合わせ、「このコーヒーなかなか美味しいな」と思っていただけのように、それぞれのカフェのオーナーが試行錯誤を繰り返してその店独特の看板コーヒーとなるのです。いわゆるそのカフェ(お店)を評価する上で大切な作品が「ブレンドコーヒー」なのです。

コーヒーの味に「正解」はありません。また正解を無理やり見つけようとする必要もないと思っています。自分なりに好きな味のコーヒーに出会った時の喜びを感じて欲しいと思っています。

建築と庭から生まれる 居場所づくりをめざして

ガーデンニング学習指導員
原田喜美子 (東京都)



私はガーデンニング学習指導員として登録しています。通信教育はとても魅力的ですので、庭園技能講座、果樹、庭園デザインナー、建築模型講座などいくつかの講座を受けました。これまでは

ガーデンニングが主流でしたが、他の資格も力をつけて広めていきたいと考えています。例えば子供達が庭をデザインしたり、お家の模型を作ったりするのを教えるのも楽しいことだと思えます。

少子高齢化が進む中、やはり考えるのはこれからの居場所づくりです。子供、高齢者、そして独身者にとって

も充実した時間を過ごすことのできる場所はとても重要になると思います。

時間を無駄にしない居場所づくり、楽しく過ごせる居場所づくり、学びや成長が得られる居場所づくりを建築と庭から考えていきたいと思っています。自宅だけでなく、公共の場の建築物や公園も居場所づくりのコミュニティの場所になると素晴らしいと思います。その場所に学習指導員がもつと活躍できることを期待しております。

緑を感じられる 生活作りに貢献したい

庭園技能学習指導員
松本 武 (神奈川県)



私は横浜市で造園エクステリア事業者として主に個人邸の庭園管理やリフォームや作庭、外構工事を営んでいます。昨年は一念発起して1級造園技能士の資格を受験し、合格しました。

私が庭園技能学習指導員の講習を受けた理由は、感性豊かな子どもたちに、自然や植物に興味を持ってもらえる機会を提供したいと思ったからです。きっかけは、庭作りを依頼された若いご家族との出会いでした。小学生のお子さん二人のために、子どもたち自身で水をやり、育てた

野菜を収穫して食べる体験をさせたので、野菜作りができるスペースを作ってほしいという要望をいただいたからです。私自身も子どもの頃、プランターでトマトやキュウリを育てたことを思い出し、懐かしい気持ちになりました。

作庭後、作りたての畑にご家族と一緒に野菜の苗を植える手伝いもさせていただきました。嬉しそうに真面目に取り組みお子さんの笑顔を見て、改めて植物の力はスゴイ！と感じました。植物との温かい思い出を作るお手伝い、このような機会が今後も学校や個人様邸で持てたら幸せと思います。

植物は、人と同じで周辺環境で生育状況が大きく変わります。なかなか教科書通りには行かず頭を悩ますこともあり、私自身、実践を通じて日々勉強することばかりです。次の世代に向けて庭園技能学習指導員として植物に関心を持っていただけるよう楽しみながらも真剣に向き合っていきます。



ホームページで情報発信
(潮彩庭縁 <http://www.shiosaiten.com>)

◆お詫びと訂正

前号Wewe16号「学習指導員活躍記」の河野悦子さんの紹介記事におきまして、写真説明文に誤りがありました。①写真「独学で作ったバラ園」は「アドバイザーを務めるバラ園」です。河野様、福島県都市公園・緑化協会様にご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

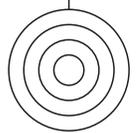
シリーズ

半学
15
半教

見聞きし、真似る

白石克己

当協会理事・元佛教大学教育学部教授



「家族のために」

昨年の生涯学習奨励賞表彰式で文部科学大臣賞を受賞した受講者のスピーチは「学習指導員」の原点を思い起こさせるものでした。受賞者は「葉膳マイスター養成講座」を受講し、最優秀の成績を残した方です。定年まで仕事に邁進できたのは「家族の応援のおかげ」だった、だから今度は「家族のために」に学ぼうとしたそうです。そのために通信教育を選んだ、というのです。

家庭で通信教育の受講者が学ぶ様子は家族に波及効果が見られます。夜中にトイレに行ったらママが台所で



通信教育の教科書で学んでいた、だからボクも勉強がんばる、と。祖父が辞書を引いて通信のテキストを読んでいる姿に感激し、高卒の私も大学通信教育を受講しはじめた、と。

家族のメンバーが一人でも学ぶことは「家族と共に」学ぶことを促します。

「学縁」で学びを刺激し合う

家庭であれ地域社会であれ、ただ親子だからとか、同じ町内だからとか、といつても人は学び合うとは限りません。同じ企業の社員でも社内研修でもない限り学び合う機会は少ないものです。しかし、この社縁（職縁）のなかでも朝活セミナーをカフェで行う、ワイン愛好会を週末に継続する、こうすると学び合いの相互作用が起きます。仲間同士のネットワークも強まります。

学ぶことを共通の課題としていると、ビジネスの世界でも地域社会でも一体感が生まれます。家族でもスポーツや趣味を同じくして学び合うと、「つながり」も深まり、上達も望めます。

このごろ、十代で活躍するスポーツ選手（卓球など）は、親と同じスポー

ツの特訓を受けてきたことが注目されています。これも家族で、親子で同じ種目を学びつづけた成果でしょう。もちろん遺伝のせいだとか、「DNAを受け継いだ」のかもしれない。しかし要因はもつと複雑です。幼児期から

特訓も受けたでしょうが、父親や母親、きょうだい皆である種目中心で生活がまわっている成果なのです。アスリートとして両親の行動を見習ったり、繰り返される助言をよく聞いて、練習を積み重ねています。

歌舞伎や能・狂言では昔から六歳で「稽古始め」としてはいますが、じつはそれ以前から

その芸能にかかわる所作を行住坐臥ぎょうじゅうざがよく見聞きし、見習っています。高校や大学で芸能を学んだ後で、素人が稽古を始めてもプロには追いつかない奥深い技があるのです。

「見習う」舞妓と関取

以前、京都で舞妓さんになったばかりのひとと対談をしたことがあります。宮崎県の中学を終えて一年間の修業（仕込み期間）を終えた人でした。高

校一年生に相当するのに、その言動が大人びているにびっくりしました。舞妓の修業で欠かせない京言葉もきれいで、東京弁の私の評価は甘いので、一緒にいた京都育ちの編集者に確認したら流暢な京都弁との評価でした。

京言葉の習得は舞妓さんを育てる独特の「疑似」家族による指導の成果なのです。舞妓になるために習うのは京言葉だけでなく礼儀作法、舞いや邦楽、茶道や華道もあります。これらの作法・技能は学校でも習いますが、所属する置屋おきやで「おかあさん」「おねえさん」から習います。「箸の上げ下ろし」を24時間、365日、徹底的に真似ます。見習って一人前になる努力を重ねたおかげで、一年間で舞妓になれたのでした。

大相撲の世界も同じです。親方や「おかみさん」、兄弟子などから相撲の技術だけでなく、相撲取りとして必要な生活全般の知恵を習います。外国出身の関取の日本語がうまいのも、相撲部屋独特の仕組みのおかげです。日本語学校や相撲学校で教わったからではありません。

生涯学習の現場は親族・親戚だけで学ぶわけではありません。プロの養成機関でもありません。しかしベテランの学習者から「見様、見真似」で学ぶことは必要です。新人のメンバーの学び方を見聞きし、学び直すことも欠かせません。

学習指導員交流会が 開催されました！

去る平成29年11月25日(土)、東京都千代田区にあるプラザエフにて学習指導員交流会が盛大に開催されました。この交流会は、当協会主催の生涯学習奨励表彰式と同時に開催され、今回は全国から29名の学習指導員の先生方がお集まりになりました。交流会には本誌Weweの「半学半教」を連載の白石克巳先生も出席され、学習指導員同士の情報交換や地域での活動報告など充実したひとときを過ごしていただきました。なお、交流会では掲載した2名の方のスピーチの他に、福島吉広さん(千葉県)、竹下節子さん(大阪府)、齋藤浩さん(福島県)、須田貞司さん(神奈川県)、名古屋千夫さん(神奈川県)からもご挨拶をいただきました。平成30年度の学習指導員交流会は11月開催の予定です。多数のご参加をお待ちしております。詳しくは後日ご案内致します。



交流会に出席された学習指導員の皆さん



白石先生を囲んで



受賞者の方々と交流

交流会では、学習指導員の方々が挨拶されました

すばらしさを感じている
植木屋の仕事

保島裕次

(庭園技能学習指導員・東京都)

私は以前、
広告代理店で
働いておりま
したが、今は



東京の新宿区で便利屋の仕事
をしています。便利屋の仕事
をしていて最近思うことは、庭
などで草むしりなどの作業をして
いますと、ご近所の方が「お兄
ちゃん、植木屋さんなの？」と
尋ねられ、「いいえ、便利屋で
す」と答えますと、「今は、植木
屋さんを頼んでも、2、3週間
待ちで、前頼んでいたところが
止めちゃって、探しているところ
なの」と言われることが多く
なったことです。また、高齢の
方が老人ホームなどに入居され
ているのか空き家が多くなって
いて、不動産関係の方やご家族
の方からの依頼で、空き家の庭
の管理を依頼されるようになり

ました。

最近では便利屋の肩書に植木
屋の肩書を加え、植木の仕事も
するようになり、いろいろな方
からのお声がかかるようになり
ました。そして、学習指導員の
資格を取得してからは、ご近所
の方々やお客様に庭の手入れや
アドバイスにも自信を持って説
明できるようになりました。植
木屋の仕事は素晴らしいなとつ
づく思います。

いよいよ始めた
紅茶の仕事

齋藤綵珠

(紅茶学習指導員・埼玉県)

私の住んで



いるところは
埼玉県西部の
山の中、山と
川しかない山里です。ここは昔
からお茶の産地で、今でも農薬
を使っていないお茶の木があり
ます。現在私は、そのお茶の葉
をいただいて紅茶を作っていま
す。

私がこの地でケーキ屋さんを
始めたのは21年前のことです。
当時はとても自然豊かなきれ

なところでしたが、次第に荒れ
てきて、なんとかしなければとい
う思いから目を付けたのがお茶
でした。この地域は朝夕の霧が
深く、お茶がとても美味しいの
です。ですがお茶を久しく作ら
なくなっていたのです。

65歳の時、紅茶について学ば
うと紅茶の通信講座を受講し
数年経ちましたが、なかなか紅
茶に専念できず、ジャガイモを
加工した焼酎造りやユズの加工
商品を作ったりしていました。
しかし、70歳を過ぎた今、元
のケーキ屋の仕事に戻り、最初
の念願だった紅茶を利用した仕
事に邁進したいと思っておりま
す。

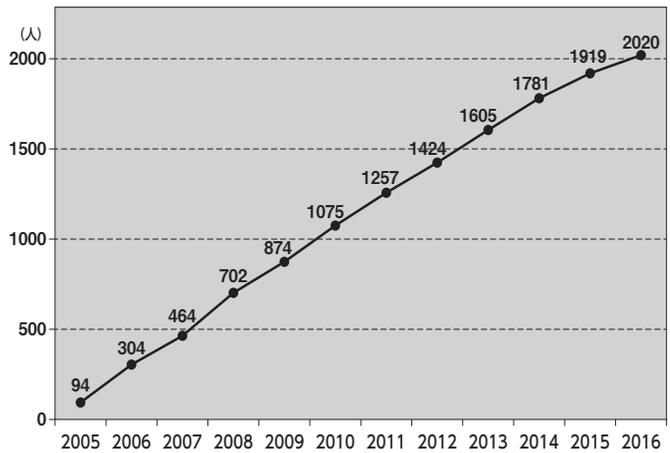
現在、地域起こしのために、
紅茶の作り方講習会、飯能市
のエコツアーを年に2、3
回実施し、紅茶の作り方を広
め、また、地域の特産品にすべ
く、ユズやウ
メ、ブルーベ
リーのジャム
やケーキを作
り、毎日紅茶
の世界を楽し
んでいます。



「学習指導員」認定登録者の現状

インターネットの普及で興味のある事がらを手軽に学ぶ環境が整いつつあり、生涯学習に対する関心の強まりを全世代の人が感じています。今号では、新規登録者の年度別推移と、主な分野の世代分布をご紹介します。

■学習指導員新規登録者 年度別推移(累計)



■学習指導員認定登録時の分野別年齢表

	20代以下	30代	40代	50代	60代以上	合計
ハーブ	42	114	141	192	129	618人
庭園	45	22	135	396		572人
ガーデニング	15	49	78	137	97	376人
紅茶	28	47	47	38	21	181人

あなたの ご寄附で育む 生涯学習社会

寄附のお願い

税法上の優遇が あります

学習指導員の養成・認定事業などを通じ、当協会は生涯学習社会の実現に向けて、様々な事業を進めています。当協会の事業に賛同する皆様の暖かなご厚志で、さらに拡大・充実を図っていきたく存じます。ぜひご寄附の程お願い申し上げます。本協会へのご寄附は、税法上の優遇措置が適用され、所得控除、税額控除等が受けられます。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。
<http://www.jais.or.jp/kifu/>

学習指導員名簿 2017年2月1日～2018年1月31日 資格取得者 名簿公開を希望しない方は除く

※下記の個人情報、各人の諸活動に資するためのものであり、(公社)日本通信教育振興協会ではその趣旨に基づき掲載しています。下記の情報を活用される場合は、その意図を理解され、十分なご配慮をお願いいたします。

- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>庭園技能学習指導員</p> <p>石塚 憲夫 ……宮城県富谷市
大塚 美津男 ……栃木県真岡市
手塚 甲 ……栃木県日光市
戸羽 俊治 ……埼玉県志木市
乙訓 俊道 ……東京都青梅市
水田 孝久 ……東京都小平市
中村 輝夫 ……東京都昭島市
保島 裕次 ……東京都新宿区
石川 秀夫 ……神奈川県足柄上郡
小尾 忠孝 ……神奈川県横浜市
松本 武 ……神奈川県横浜市
溝部 厚司 ……神奈川県横浜市
今井 悟 ……石川県金沢市
宮下 敏郎 ……石川県加賀市
小田原 猛 ……愛知県名古屋市中区
牧山 照明 ……愛知県名古屋市中区
篠原 良行 ……京都府京都市
清家 眞 ……大阪府大阪市
白形 泰範 ……兵庫県神戸市
平田 数秋 ……広島県広島市</p> | <p>園田 敏文 ……佐賀県三養基郡
三浦 健次 ……大分県大分市
三浦 幸男 ……大分県豊後大野市</p> <p>ガーデニング学習指導員</p> <p>根岸 秀幸 ……群馬県北群馬郡
関 哲也 ……埼玉県さいたま市
田中 奈希沙 ……千葉県千葉市
田中 雄一 ……東京都羽村市
蜂須賀 利勝 ……東京都荒川区
小曾根 明美 ……神奈川県愛甲郡
今井 英章 ……石川県鹿島郡
矢後 恵美子 ……静岡県御殿場市
堀 恵子 ……滋賀県東近江市
當村 まり ……京都府京都市
兼田 真理子 ……兵庫県相生市
西間 正美 ……福岡県北九州市</p> <p>ハーブ学習指導員</p> <p>早瀬 真弓 ……青森県青森市
大田 由佳子 ……宮城県塩釜市</p> | <p>薄井 邦夫 ……茨城県日立市
酒井 里花 ……茨城県東茨城郡
菊池 尚子 ……栃木県宇都宮市
笥 理恵子 ……東京都中野区
亀井 滋 ……愛知県一宮市
鎌田 哲夫 ……京都府船井郡
奈良井 稔子 ……島根県安来市
石井 清子 ……宮崎県延岡市
高良 直子 ……沖縄県豊見城市</p> <p>紅茶学習指導員</p> <p>木村 晴子 ……岩手県久慈市
中澤 孝行 ……東京都板橋区
花井 久代 ……愛知県大府市</p> <p>DIY学習指導員</p> <p>佐々木 英二 ……北海道札幌市</p> <p>手づくりパン学習指導員</p> <p>竹中 二美子 ……青森県八戸市
名川 恵 ……神奈川県横浜市</p> | <p>柏木 咲季 ……長野県南佐久郡
柏木 由美 ……長野県南佐久郡
青木 美幸 ……岐阜県郡上市
入野 えり子 ……徳島県徳島市</p> <p>ローズガーデン学習指導員</p> <p>楯 敏幸 ……岐阜県中津川市</p> <p>ナチュラルフード学習指導員</p> <p>森本 梨恵 ……埼玉県さいたま市
平久 友子 ……千葉県野田市
坪内 美恵 ……千葉県長生郡
矢野 孝子 ……東京都武蔵野市
鈴木 芳子 ……愛知県豊橋市
児玉 叡子 ……兵庫県宝塚市
淵上 大誠 ……熊本県熊本市</p> <p>薬膳マイスター学習指導員</p> <p>本田 千亜木 ……埼玉県所沢市</p> |
|--|--|--|---|

学習指導員の方々へのお問い合わせは通教振事務局(TEL: 03-5213-5534/FAX: 03-5213-5596)へお尋ねください。

Jais ホームページ <http://www.jais.or.jp/>



発行/公益社団法人 日本通信教育振興協会
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-7-10 山京ビル本館303
●お問い合わせ tel.03-5213-5534 fax.03-5213-5596
●ホームページ <http://www.jais.or.jp/> ●メールアドレス info@jais.or.jp